

■第7回会議（1月24日）は、懇話会・公募市民との合同研修

市民参画協働懇話会が作成している「市民協働まちづくり推進計画」の概要版を見ながら、参画と協働のまちづくりを推進していく方法について、4つのグループに分かれ、意見を交換しました。

市民の方からは行政への要望とともに、市民がやるべきことについて、また、職員からは行政が積極的に関わるべきことや、市民の関わりが不可欠なことなどについて、たくさんの意見が出ました。

あるグループでは、話し合いの中で出たあらゆる項目はすべて行政にやってほしいことになるなあ…という意見で進みかけたところを、やはりここは市民が積極的に行動すべきことじゃないかな…という意見が出るなど、話しは行ったり来たりを繰り返しながら、お互いの立場を考えるための貴重な時間となりました。

ワーキングメンバーのつぶやき vol.⑧

つぶやき人：北川あかり（環境政策推進課）



「市民活動が活発な長岡京市」。これは、このまちで働いていると、様々な場面で実感します。

活動されている皆さんは、自分の体験や、身近な人の声から「市民が何を必要とし、自分たちは何をすべきか」を的確に把握し、きめ細かい取り組みを展開されておられます。活動の原点は、何かの役に立ちたい…という思いです。

私たちワーキングメンバーは、そんな皆さんと力を合わせて「まちづくり」ができれば、このまちはもっと住みやすいまちになると考え、何度も話し合ってきました。

以前に実施した市民活動団体へのアンケートでは「協働という言葉がわからない」「協働するためには何をしたら良いの?」と言ったご意見が多数寄せられました。

今年度は、協働する際に市民・行政の手引書となる『協働マニュアル』をまとめました。これにより、皆さんの「う～ん?」が「なるほど!」に変わるなら、とても嬉しく思います。

ただ、マニュアルの作成は職員で構成するワーキングが主導となって行ったため、その過程において協働という視点が足りていなかったことが反省点として残りました。今後、市民の皆さんと一緒に手直しを重ねていくことで、より活用度の高い物を作り上げていきたいと考えています。

長にゃんの歌

(作詞・作曲：長にゃん)

にゃんにゃん♪

にゃんにゃん♪

みんなやで

にゃかよく

にゃがおかを

よいまちに

し・よ・うにゃん♪



長にゃん

■第8回・第9回会議
(2月28日・3月17日)

マニュアルの作成作業もいよいよ大詰め。ワーキングメンバーそれぞれが担当したマニュアルの各部分をつなげ、全体のレイアウトや、より見やすい項目の順番、読みやすい文章にするための話し合いを重ねました。

■協働マニュアルの完成
(3月31日)

「市民・行政双方に役立ち、使いやすいマニュアル」を合言葉に作業を進めてきた協働マニュアルが完成しました。

ただ、完成とはいえ、まだまだ足りない部分や、使いにくい部分もあると思います。

今後、このマニュアルをよりよいものにしていくために、ぜひみなさん、手にとってご一読ください。そして、協働ワーキングへご意見をお寄せください。

ワーキングメンバーのつぶやき vol.9

つぶやき人: 林利夫 (市民参画協働政策監)



協働ワーキングメンバーとは、1年という短い間のお付き合いでしたが、メンバーの印象としては、与えられた(分担)した業務については、少々期日には遅れることはありましたが、きっちり仕事をするというものです。

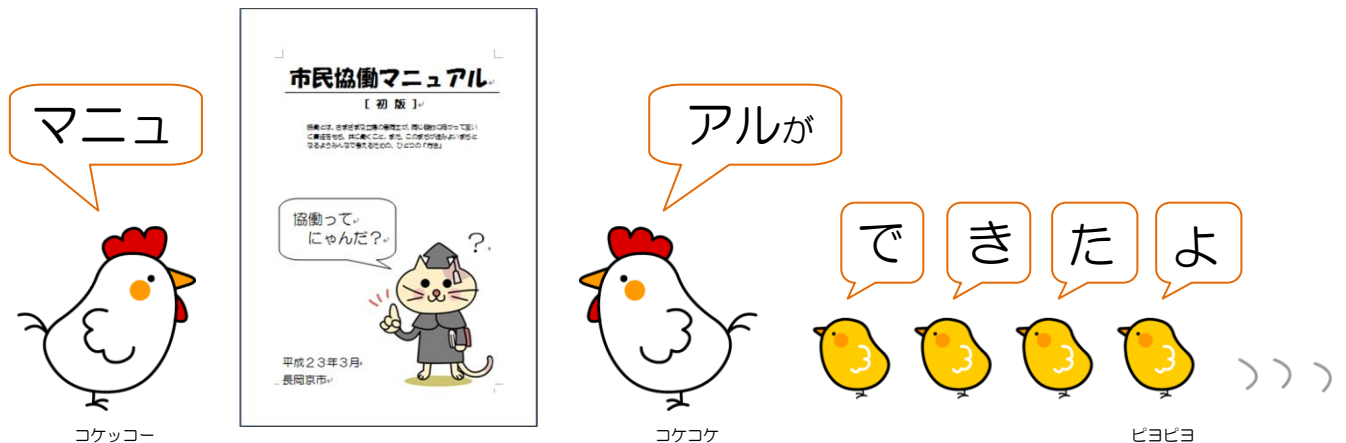
それぞれ本来業務を抱えながらの仕事であり、時間外での仕事になることも相当あったと思いますが、不平・不満を言わず、逆に楽しそうに仕事をこなしていた姿に幾度となく感銘を受けた次第です。

これまで、外からワーキングチームの活動を見ていましたが、チームメンバーの積極的で・真剣な取り組む姿を見て、私の協働という仕事に対する姿勢に大きな影響も与えていただいたと思います。

平成22年度は、市民協働のまちづくりに向けたマニュアルづくりについて、6名のメンバーが分担し、本市の実情も十分踏まえながらマニュアルの作成に汗をかいていただきました。

今後はその熱意を、市民協働のまちづくり推進計画の推進の序内におけるリーダーとして、是非活かしていただくことを大いに期待したいと思います。

※林政策監は、平成23年3月末日をもって退職されます。



*協働に対する疑問・提案・思いなどは、お気軽に下記までお寄せください。
メールアドレス: shiminsankaku@city.nagaokakyo.kyoto.jp